

Unexamined Patent Publication No. Sho 63-152563

Published: June 25, 1988

Title:

Package

Claims:

1. A package comprising:

a board having a width which can accommodate a commodity and a required length;

a plurality of cutting lines disposed orthogonal to a longitudinal direction of the board at a certain interval;

a hook piece for connection between the cutting lines formed of cutting a line in which latch portions are provided on both ends the line;

a cut portion for hook having a flat, half-moon shaped through hole in the middle provided on another side of the cutting line; and

an appropriate width of holding film made of resin for holding a commodity attached on an front side of the board at a middle position between the every said cutting lines, wherein

at a time of packaging, a piece of the board separated by the cutting line is hooked by hooking one of the hook pieces to one of the cut portions, thereby making a construction in which a target commodity can be inserted and held with a commodity mounting part formed by a loosened holding film and a board part.

Effect of the Invention:

As described above, according to the present invention, a commodity can be placed on the board and packaged, and hung to display for sale with a simple structure, and without separate fixing member, achieving presentable package. Additionally, since it approximately has just a thickness of a board before packaging, it is less bulky. Moreover, even a bulky commodity can be placed on the board without any trouble, when dimensions of a commodity holding part and a hook piece are set in advance according to the bulk of a target commodity. A commodity can be easily fixed onto the board and can be packaged and hung, when a heat-shrinkable film is used for the resin film to be attached. Thus, a practical and useful hang-display package can be provided inexpensively based on less material, simple structure, and easy manufacturing.

⑨日本国特許庁(JP)

⑩特許出願公開

⑪公開特許公報(A) 昭63-152563

⑫Int.Cl.

B 65 D 75/28

識別記号

府内整理番号

6694-3E

⑬公開 昭和63年(1988)6月25日

審査請求 未請求 発明の数 1 (全5頁)

⑭発明の名称 包装体

⑮特 願 昭61-297122

⑯出 願 昭61(1986)12月12日

⑰発明者 東本 和弘 大阪府大阪市城東区放出西2丁目16-14 株式会社トービ
内

⑱出願人 株式会社 トービ 大阪府大阪市城東区放出西2丁目16-14

⑲代理人 弁理士 三木 正之

明細書

1. 発明の名称 包装体

2. 特許請求の範囲

1. 本発明は商品の収まり得る幅で所要長さの台紙には、所定の間隔で長手方向に直交する切目線を複数個所に配設し、各切目線位置を挟んで両側には、一方に切線によつて両翼に保止めを備えた形状にして切目線側で葉がる掛け止め片を設け、他方に中間部分にて偏平半月状の通し孔を有して両側に保止め用の切線による切込みを付してなる保止め切込み部を設けたものとし、かかる台紙上面には合成樹脂製の商品抱持用フィルムを、前記各切目線の中間位置で適宜幅接合したものであり、包装時には切目線で切断した台紙片を、一方の掛け止め片と他方の保止め切込み部とを掛け合せ、たるんだ抱持用フィルムと台紙部とで形成した商品接着部で目的商品を押入保持できるよう構成したことを特徴とする包装体。

2. 台紙と商品抱持用フィルムとは、商品接着

部以外の側面で接着部を介してラミネートしたものである特許請求の範囲第1項記載の包装体。

3. 台紙と商品抱持用フィルムとによつて形成される商品接着部の両側の開口部寸法が異なるようく接着部で接着してある特許請求の範囲第1項または第2項記載の包装体。

4. 商品抱持用フィルムとして熱収縮性樹脂フィルムを使用し、商品接着部に商品を収容した後で熱収縮させて、抱持用フィルムにより商品を固定保持するようとした特許請求の範囲第1項～第3項記載の包装体。

3. 発明の詳細な説明

直線上の利用分野：

本発明は簡単な構成で合理的に包装できる吊り下げ展示型の包装体に関する。

従来技術：

包装した商品を展示販売する手段として、台紙に包装商品の包装体の一部を貼り付けて吊り下げるようとしたものが、既知の通り汎用されている。この種の包装手段によれば、吊り下げられる台紙

と包装体とを縫じ金によつて固定するなどしてあり、体裁もよくない。また透明の合成樹脂フィルムをプリスター成形したものの内側に商品を収めて台紙に固定し、吊り下げ展示するような形式のものも汎用されている。そして前記した二通り、あるいはそれ以外の型式にあつても、一般的に、1枚の台紙に複数の商品を取り付けて吊り下げ展示する場合、その取り付け操作に手数を要し、しかもその一品を販売するに際して、台紙から取り外すのに不便であり、あるいは取り外した残りが空白になつたりして展示効果を阻害する等種々の問題点がある。

解決しようとする問題点：

本発明は複数個の物品を台紙に対し添付した状態で吊り下げ展示販売できる構造とするに際し、台紙に対し物品を抱持できる合成樹脂フィルムを所定の割合で固定しておき、台紙はその一部を切り放して掛け合せるようにして、目的物品を台紙に対して合成樹脂フィルムにより抱持するようにし、一品づつ切り放しても外形に支障を来

本発明包装体により展示する商品としては、主に偏平な形状に包装された軽ましくは軟質の包装商品であることが有効である。もちろんそれ以外であつてもよい。

また、本発明にては、前記台紙上に添付する商品抱持用フィルムとして、熱収縮性合成樹脂のフィルムを使用することにし、台紙部分の掛け合せと該フィルムとの間に形成された商品受け入れ部に商品を挿入した後において、フィルムを熱収縮して商品を固定するように構成する。

本発明における台紙の掛け合せ部分の構造については、一方に挿入孔(透し孔にかぎらない)を設け、他方に掛け止め片を設けて、両者の掛け合せによつて掛け止め片が水平方向の移動に対し、容易に外脱しない構成のものであればよい。

実施例：

以下本発明を実施例について図面により詳述すれば、次の通りである。

第1図乃至第3図に示すのは、本発明包装体の使用前の形状であつて、このものは第7図に示す

たすことなく吊り下げ展示販売できる、簡単で合理的な包装体を提供することにある。

発明の構成：

本発明は、少なくとも被包装商品の長手寸法に近似する幅で所要長さの台紙には、所定の間隔で長手方向に直交して切目線を複数箇所に配設し、各切目線刻設位置を挟んで両側には、一方に円弧状でその両端から中央寄りに適宜寸法それぞれ横方向へ切込んだ形状の切線によつて切目線側が窓が開く掛け止め片を設け、他方に中間部分に形成した偏平半月状の透し孔から両側へ切目線と反対方向へ屈曲する切込み線を刻設した係止部を設けたものとし、このような台紙上面には合成樹脂製の商品抱持用フィルムを、前記各切目線間の中間位置で適宜幅に張着したものであり、包装時には切目線で切断した台紙片を、一方の掛け止め片と他方の係止切込み部とを掛け合せ、たるませた抱持用フィルムと前記掛け合せ台紙部との間に目的商品を挿入保持させるよう構成した展示販売用包装体である。

ような袋によつて包装された偏平な商品(1)を展示販売できるよう包装するものであり、所要数の商品を縦一列に並べて包装できる細長い台紙(1)と、その片面(表側になる面)に添着した被包装商品の抱持用フィルム(2)とからなる。

台紙(1)は、主として被包装商品(1)の大部分が収まる幅寸法で、その複数個を順次並べて包装できる所要長さ、たとえば4個～10個(これに限定されるものではなく、取り扱う商品の重量・大きさなどに応じて設定すればよい)分が包装できるに要する長さとする。その用紙としては、板紙あるいは化粧紙張りした板紙などを用いている。そして所要の間隔(3)で切目線(4)が図示の如く幅方向に設けである。この各切目線(4)を挟んで長手方向中心線上には、該切目線(4)から一定寸法(5)離れた一方に、円弧状とその両端で適度な丸味をつけて切目線(4)にて中央寄りに適宜寸法(6)傾向に對称に、連続した切線(7)を刻設し、この切線(7)によつて開かれた部分が掛け止め片(8)となるようにしたものを作成する。切目線(4)の他方に、前記掛け止め片(8)

と対向する位置に、図示の如く個半半月状の透し孔¹⁰と、その孔の両端に連続して、それぞれ彎曲した切線¹¹を対称に配してなる保止切込み部¹⁰を設けてある。なお、該保止切込み部¹⁰の幅Bは前記掛け止め片¹¹の幅Bよりもやや広くなるようにしてある。また各切線¹¹の外端は小丸孔を付して適度に板紙を裂かないように配置してある。このようにした台紙¹¹の上端部(吊り下げ時の)には吊り下げ用の孔¹⁰が設けてある。

この台紙¹¹は表面に予め熱可塑性の合成樹脂による接着層を塗布しており、該接着層を介して透明な合成樹脂フィルムにてなる商品抱持フィルム¹²を、各切目線¹¹間に、その間隔と位置合わせて複数で台紙¹¹に接着層してある。なおこの商品接着部(後述)以外の面(吊り下げ時における台紙¹¹の上部と下部)とでは全面に接着してある。

而して台紙¹¹に対する商品抱持フィルム¹²の遊離部分の寸法しは、抱持する商品¹³の裏面の長さに対応できるように予め設定しておくのであり、該フィルム¹²の遊離部分長さと、切目線¹¹より

切込み部¹⁰との掛け合せで連結する。このようにすることで、第5図に示す如く、掛け止め片¹¹の両翼部¹⁴が保止切込み部¹⁰の透し孔¹⁰両端に設けた彎曲切線¹¹によつて形成される突起部¹⁵と当接保合して、ずれることなく保止し、安定状態で連結される。もちろんこれに限定されず、その逆に組み合せてもかまわないと(ただし、このようにすると体裁がよくないことと、連結部が不安定になり易い)。

すると、台紙¹¹側が掛け合せ部分での重なり分長さが短くなるので、上側にある抱持用フィルム¹²が浮き上ることになり、フィルム¹²と台紙¹¹とによって商品接着部¹³が形成される。そこで、この商品接着部¹³に商品¹³を開放された面から伸入すれば、第8図に例示するように台紙¹¹にフィルム¹²で抱持されて商品を接着包装できるのである。

そして吊り下げた状態ではフィルム¹²および台紙¹¹の掛け合せ部における保合で商品の重積が支持され、不安定になることはない。

なお、台紙¹¹に対するフィルム¹²の接着部¹³に

掛け止め片¹¹の切線¹¹側向き部分まで、および保止切込み部¹⁰の彎曲切線¹¹頂部から切目線¹¹までの各す法¹⁰十¹⁰を差引いた寸法¹⁰とを、合計した長さが、商品の抱持面長さよりやや長くなるように設定してある。

このように構成した本発明包装体によれば、予定された寸法に応じて、抱持用の合成樹脂フィルム¹²は、吊り下げ時の両端となる部分を除いてトムソン加工(紙切込みや打ち抜きなど紙器の加工を行なうこと)で、切目線¹¹、切線¹¹、透し孔¹⁰などを形成した用紙に、予め塗布されている接着層¹³に対して各所を接着層して、これを所定の間に切抜いて、未包装状態のもの(第1図参照)を得る。

商品¹³を包装するに際しては、第4図乃至第6図に示す如く、各切目線¹¹によつて台紙¹¹を切断した後(この状態でもフィルム¹²によつて全体がつながっている)、掛け止め片¹¹を保止切込み部¹⁰の透し孔¹⁰に、該掛け止の片¹¹を有する側の台紙片¹¹を上側にして挿入し、掛け止め片¹¹と保止

おいて、その中間に切取り用のミシン目を設けておけば、展示状態で、順次当該ミシン目から切り放して商品を販売することができ、全体の体裁を損うこともない。

以上は本発明の最も一般的なものについて説明したが、上記のような台紙と商品抱持用フィルムとの組合せ構造についてはほぼ同じにし、その商品抱持用フィルムについては、熱収縮性合成樹脂フィルムを使用するよう構成すれば、前記と同様で製作し、かつ台紙を切目線¹¹に沿つて切断後掛け合せて形成した商品接着部¹³に対し商品をそれぞれ挿入後、フィルムに熱風をかけるなどして熱収縮させれば、商品が台紙に対して抱持用フィルムの収縮力で自動的に固定されることになる。したがつて、商品の形状もしくは寸法が前記具体例のように安定性のないものであるときには、有効に包装することができる。もちろん安定性のよい商品であつても同様である。

また抱持用フィルムについては透明以外に着色したもの、図柄等の印刷を施したもの用いても

よい。

そのほかに、必要に応じて台紙の幅を広くして、商品接着部に複数の商品を並べて挿入し、抱持するようにしてよい。さらに、商品の形状によっては商品接着部となる抱持用フィルムの台紙に対する接着部の形状を、幅方向において、一方の寸法より他方の寸法が広く接着する。すなわち、台紙の掛け合せ部を掛け合せた状態で膨れ上つたフィルムと台紙とで形成される側面の開口部が、一方に比べて他方が広くなるような形状にすることも任意なし得る。

発明の効果：

以上のように本発明によれば、簡単な構成でもつて、台紙上に商品を取り付け包装して、吊り下げ展示販売することができるものとなり、別途な取り付け具も必要とせず体裁よく包装できる。そして包装前にはほぼ台紙の厚みだけであるから、きわめて低く、しかも商品接着部の寸法を目的商品の高さに応じて予め掛け合せ部の寸法を設定しておけば、嵩の高い商品でも無理なく台紙表面に接着

できる。付属の樹脂フィルムに熱取締性のものを使用すれば、台紙に対する商品も簡単に固定して吊り下げ包装ができる。このように資材も少なく、構造も簡単で、製造も容易であるから、安価に提供でき、合理的で有用な吊り下げ展示包装体であるといえる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明包装体の使用前の一例省略正面図、第2図は卷部の拡大正面図、第3図は第2図の中央断面図、第4図は台紙の掛け止め片と保止め切込み部とを掛け合せた状態での正面図、第5図は第4図の状態を裏側から見た図、第6図は第4図の目一見視一部拡大断面図、第7図は被包装商品の一例斜視図、第8図は商品を包装接着した外観図である。

(1)…台紙	(2)…抱持用フィルム
(3)…切目線	(4)…掛け止め片
(4)…掛け止め片の内側部	(5)…切線
(6)…保止め切込み部	(7)…彎曲切線
(8)…透し孔	(9)…突起部片

(8)…吊り下げ孔

回…商品接着部

回…接着部

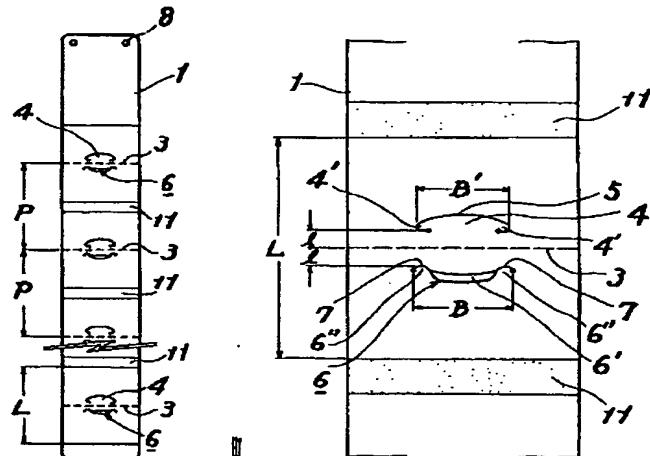
(A)…商品

出願人 株式会社トーピ

品

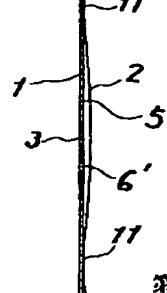
代理人

三木正之

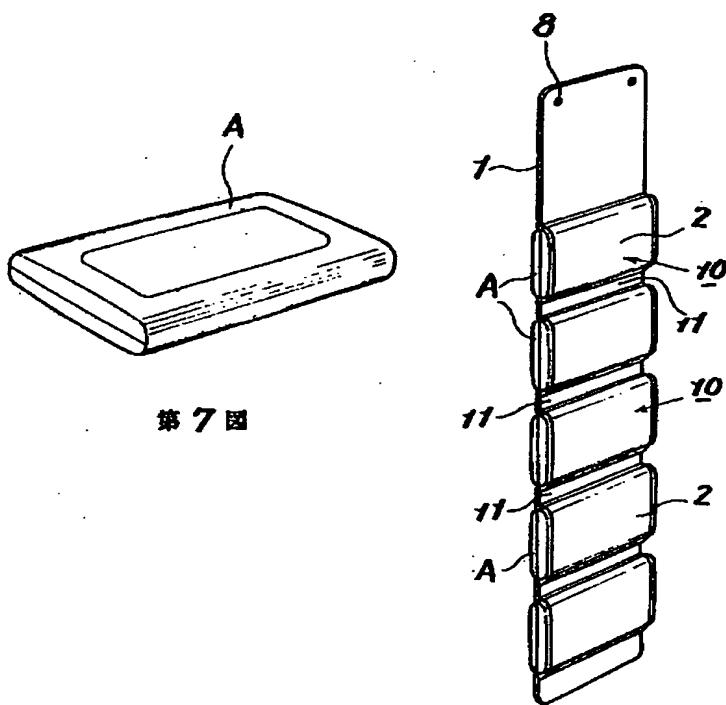
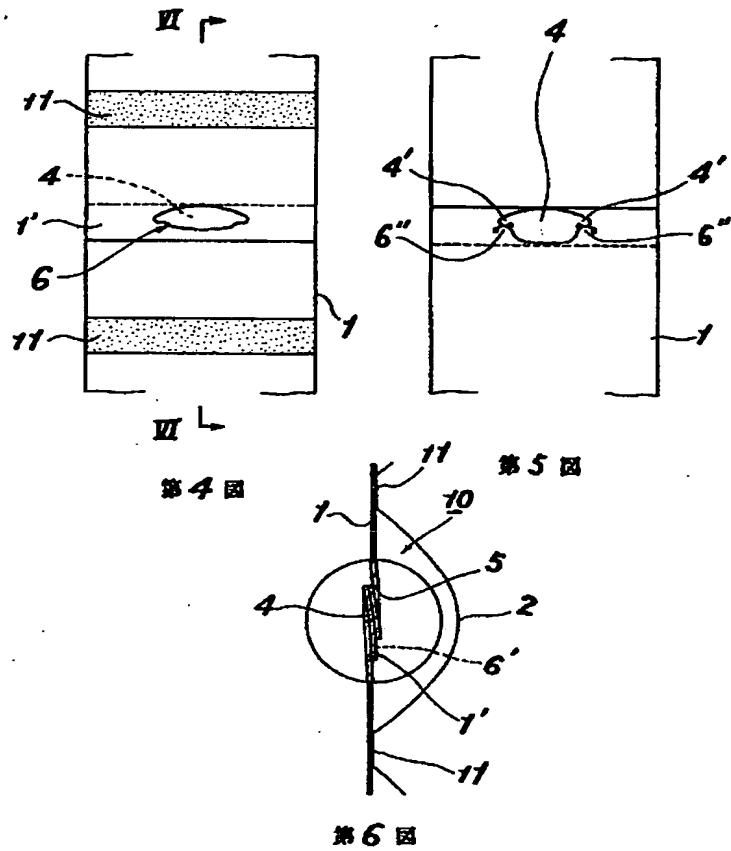


第1図

第2図



第3図



第8図